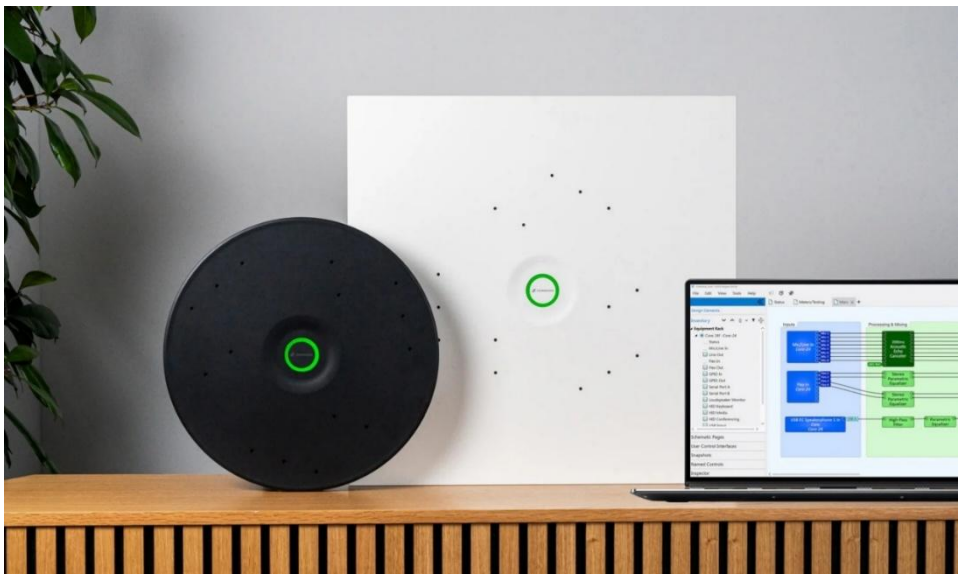
ゼンハイザージャパン、新世代の会議カンファレンスシステム「TeamConnect Ceiling M Plus」を発売

優れた音声性能に加え、導入の簡素化や拡張性の高い管理機能で、シームレスなシステム統合を実現

2026年11月16日
ゼンハイザージャパン株式会社



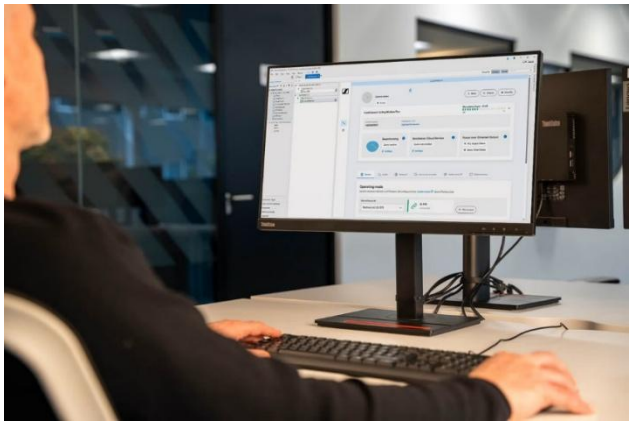
ゼンハイザージャパン株式会社（代表取締役：宮脇 精一、以下「当社」）は、新しいシーリングマイク「TeamConnect Ceiling M Plus（以下、TCC M Plus）」を2026年11月18日（水）より発売します。また本製品は、2026年11月18日（水）から20日（金）までの3日間、幕張メッセで開催される「Inter BEE 2026」にて展示します。

「TCC M Plus」は、使いやすさと明瞭な音声を提供することを目指して設計されており、導入のしやすさと、室内にいるすべての人々に一貫してクリアで自然な音声を届ける性能を兼ね備えています。TeamConnect Ceilingシリーズを基盤として、Inter BEE 2026で展示される「TCC M Plus」は、ゼンハイザーが誇る信頼性の高いオーディオ性能と、導入作業の負担軽減、システム設定の簡素化、さらに拡張性のあるAV環境を支える新世代の機能を組み合わせています。

「PartnerLink」を新たに搭載 ― 対応プラットフォーム上での直接設定を実現

「TCC M Plus」に搭載された主な新機能の1つが「PartnerLink」です。これは、主要なAVプラットフォーム内でマイクの設定をより簡単におこなえるよう開発されたゼンハイザーの連携機能です。最初の実装は、ゼンハイザーとQ-SYS™の緊密な技術協力のもとで共同開発されたもので、「TCC M Plus」をQ-SYS Designer Software内で直接設定できるようになります。これにより、Q-SYS標準のコンポーネントと組み合わせて、音声システムと制御機能をよりスムーズに統合できます。

「PartnerLink」は、まずQ-SYS環境向けに提供を開始し、今後、対応プラットフォームを順次拡大していく予定です。また、「TCC M Plus」は、ゼンハイザーが掲げるオープンエコシステム戦略を引き続き採用し、幅広いパートナーエコシステムを通じて、信頼性が高く、検証済みの統合オプションを提供します。



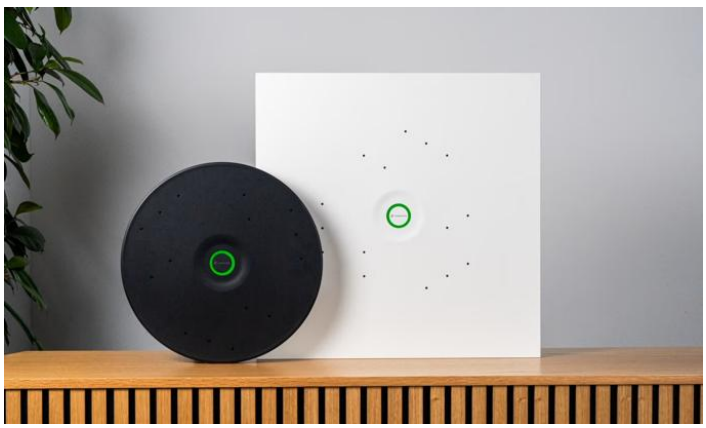
Q-SYSとの連携機能

多様なAV環境に対応する柔軟な連携機能

「PartnerLink」に加えて、「TCC M Plus」は相互運用性を重視するゼンハイザーの従来からの方針を引き継ぎ、さまざまなシステム設計やお客様の要件に対応する複数の統合方法をサポートしています。システムインテグレーターは、Danteや検証済みの統合ソリューションなど、信頼性の高い方法を用いてゼンハイザーのマイクを導入でき、さまざまな会議空間やプラットフォーム環境において、一貫したワークフローを実現できます。この柔軟性により、組織はゼンハイザーの音声ソリューションを標準採用しながら、それぞれのニーズに最適なプラットフォームやシステム構成を選択することができます。

現代の共同空間に向けた設計

ハイブリッドワークや学習環境が進化し続ける中、AVシステムはより高度につながり、複雑化しています。「TCC M Plus」はこうした変化に対応するため、高品質なオーディオ性能と、シンプルなセットアップや初期設定、管理のしやすさを兼ね備えた設計となっています。



「TCC M Plus」と「TCC M Ceiling Tile」

ダイナミックビームフォーミングや強化されたエクスクルージョンゾーンなどの機能により、「TCC M Plus」は、部屋のレイアウトや人々の位置の変化に合わせてクリアで自然な音声を届け、すべての発言を聞き取りやすくします。強化されたエクスクルージョンゾーンによりゾーン設定が簡単になり、複雑な室内環境でも狙った音声を的確に収音できるほか、カメラトラッキングの性能も大幅に向上します。

同時に、「TCC M Plus」はシステムの設計、導入、管理にかかる手間を軽減し、インテグレーター、AV/ITチーム、実際に利用するユーザーのそれぞれにとって、一貫性があり見通しの立てやすい運用を支援します。柔軟な設置方法に対応し、中規模から大規模スペースまでカバーできるため、会議室や教室、分割利用できる空間にも最適です。また、「TCC M Plus」は1本のケーブルでの接続と集中管理に対応しており、複数の部屋や拠点にわたってシステムを標準化しながら、導入規模の拡大にも柔軟に対応できます。

「DeviceHub」による一元管理

「TCC M Plus」は優れた連携機能に加え、ゼンハイザーのクラウドベースのデバイス管理プラットフォームである「DeviceHub」にも対応しています。「DeviceHub」は、大規模なデバイス管理を簡素化するために設計されたプラットフォームで、専用ツールをインストールすることなく、「TCC M Plus」に直接アクセスし、設定やモニタリングをおこなうことが可能です。

「DeviceHub」は、会議室や建物、さらには地域をまたいだ環境デバイスの状態の一元的な可視化を実現します。リモートでのモニタリング、設定、診断機能に加え、AVチームとITチームが安全に連携できるロールベースのアクセス管理機能も備えています。これにより、企業は拡大するAVシステム運用をより効率的に管理し、システム性能を維持しながら運用の負荷を軽減できます。

拡張性と将来性を備えたAV環境をサポート

「TCC M Plus」は、会議や共同作業向けのシステムを大規模に導入するインテグレーター、AV/IT管理者、組織のニーズに応えるよう設計されています。シンプルなセットアップと導入調整、柔軟かつ信頼性の高い連携オプション、クラウドベースの一元管理を組み合わせることで、大規模な環境でも導入や管理にかかる手間を抑えながら、一貫した高品質なオーディオ体験を提供できるよう支援します。

■ゼンハイザー公式「TCC M Plus」製品ページはこちら

■オーディオブレインズ（販売パートナー）「TCC M Plus」製品ページはこちら

※お問い合わせ先：株式会社オーディオブレインズ

https://audiobrains.com/contact/

【Inter BEE 2026「TCC M Plus」展示情報】

■ゼンハイザージャパン 出展ブース

・ブース番号：ホール2 / 小間番号 2109

・出展社ページはこちら

■オーディオブレインズ 出展ブース（パートナー企業）

・ブース番号：ホール3 / 小間番号 3123

・出展社ページはこちら

【Inter BEE 2026 開催概要】

・会期：2026年11月18日（水）～11月20日（金）10:00～17:30　※最終日のみ17:00終了

・会場：幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬２丁目１）

・入場方法：無料　※全来場者登録入場制

・公式HPはこちら

ゼンハイザーブランドについて

オーディオと共に生きるゼンハイザー。人々の心に変化をもたらすオーディオソリューションを生み出したいという情熱が私たちの原動力です。この情熱を通じて、当社は世界最大クラスのステージから静謐なリスニングルームに至る、さまざまな場所にオーディオソリューションを届けてきました。そして、単なる良質なサウンドだけではなく、忠実なサウンドを実現するブランドとして確立されています。1945年の創業から、ゼンハイザーはオーディオの未来を創ることを使命とし、カスタマーに独自のサウンド体験を提供し続けてきました。

Sennheiser electronic SE & Co. KGは、マイク、会議ソリューション、ストリーミング技術、プロフェッショナルヘッドホン、車載オーディオソリューション、ワイヤレスマイク、モニタリングシステムなど様々なプロオーディオ事業を展開しながら、ヘッドホン・イヤホン、サウンドバー、音声強調型ヒアラブルデバイスなどのコンシューマー向け事業をSonova Holding AGへのブランドライセンス事業で展開しています。

www.sennheiser.com

www.sennheiser-hearing.com

<本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ先>

ゼンハイザージャパンPR事務局 （ブレインズ・カンパニー内）

中村・中島・田村・稲垣

TEL：03-4580-9156 / MAIL：sennheiser@pjbc.co.jp